

# チャペル週報

聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である  
あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、  
あなたの神、主を愛しなさい。  
(申命記 6:4-5)



2006.6.5 ~ 6.9 No.8  
関西学院宗教センター

---

## チャペル・スケジュール

---

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

---

- 6月5日(月) 神 林 正 樹 (M2)  
経 舟 木 讓 (宗教主事)
- 
- 6月6日(火) 院 中 條 道 雄 (総合政策学部教授)  
神 嶋 村 誠 (商学部助教授)  
文 田 淵 結 (宗教主事)  
社 キリスト教とわたし 川島恵美 (社会学部専任講師)  
法 音楽チャペル グリークラブ  
経 経済と人間 高林喜久生 (経済学部教授)  
商 歌うチャペル(3)  
総 巡回チャペル 関西学院聖歌隊
- 
- 6月7日(水) 神 渡 辺 文 朗 (西宮聖文舎代表取締役)  
社 キリスト教とわたし 上田直宏 (卒業生)  
法 Christian M. Hermansen (宣教師)  
経 献血週間を覚えて 献血実行委員会  
商 永 田 雄次郎 (文学部教授)  
理 今 岡 進 (理工学部教授)  
総 加 藤 晃 規 (総合政策学部教授)
- 
- 6月8日(木) 神 聖歌隊による音楽礼拝  
文 Andreas Rusterholz (宣教師)  
法 音楽チャペル グリークラブ  
経 } ドイツ週間を覚えて 経済学部・商学部合同チャペル  
商 } パロックアンサンブルコンサート 於、ランバス記念礼拝堂  
総 鎌 田 康 男 (総合政策学部教授)
- 
- 6月9日(金) 上ヶ原キャンパス学部合同チャペル  
「ペンテコステを覚えて」  
於、中央講堂
- 理 「暗い人・明るい人？」松木真一 (宗教主事)
- 
- ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)  
6月9日(金) 総合政策学部のために 細見和志  
総合政策学部早天祈祷会 毎水曜日 午前8:40~ 於 宗教主事室
-

## 3つのアスタリスク

川 島 恵 美

昨年の5月26日に「ほっとけない世界の貧しさ」キャンペーンが始まり1年が経過しました。このキャンペーンは、世界の貧困問題の緊急性を訴え、政府に対し、いくつかの政策の変更を求めるというものです。このキャンペーンはGlobal Call to Action against Poverty(G-CAP:2005年1月発足)の一環として世界90カ国以上の1億5000万人の仲間がそれぞれの国の政府や国際機関に対して様々な働きかけを行っています。という説明よりも、むしろ「ホワイトバンド」と言った方がピンと来る人が多いかもしれません。昨年の夏頃、腕にシリコン性の白いリストバンドを身につけている人をたくさんみかけました。大手の本屋やコンビニのレジ横に置かれたホワイトバンドを目にされたことがあるかと思います。このバンドには3つのアスタリスクが刻まれているのですが、これは「3秒」を意味します。貧困のため、食べるものがなく、汚染された水や住環境の影響で3秒に一人、子どもが亡くなっているという事実を象徴したものです。1分間に21人の子どもが5歳を迎えることなく亡くなっています。つまり、このホワイトバンドを身につけることは「貧困をなくす政策をみんなで選択する」という意思表示の証となるもので「世界から貧困を無くしたい!」という思いを表すこととなります。

このホワイトバンドキャンペーンは、あっという間に広がりを見せました。貧困問題という、とてもシリアスな、できれば目をそむけたい、自分とは関係ない遠い世界でのできごと...と考える大勢の人たちに対して、そうした課題をもう少し身近な所に感じてもらう作戦として大変成功したものだと思います。とはいえ、単なるファッション、かっこいいアクセサリー、今時流行りのおしゃれなイベントで終わるといった限界も同時にはらんでいます。

私たちが持たなければならないのは、感受性であり、想像力です。このバンドのアスタリスクの意味する餓死して行く子どもたちと自分が、同じこの地球上に共にあること、私たちのあずかり知らない遠い世界で起こっていることではなく、自分たち一人ひとりの生活や行動とつながっている...大げさなことではなく、日常のごくささいなことが、シリアスな問題の解決とつながっていることをイメージし、そのための行動をクリエイトすることが求められているのです。

(社会学部専任講師)

## 吉岡記念館 連続写真展

吉岡記念館 1階ラウンジで『この時代を生きる』をテーマに4人の写真家の作品展及び講演会を行います。普段、新聞・テレビが伝えないビルマ、グアテマラ、フィリピン、チベットの人々を困難に置かれた側から生き生きと伝えていきます。皆様に、今、生きている世界を見る目を持っていただきたいと願っています。

6月5日(月)午後～9日(金) 宇田有三氏 ビルマ

「ビルマ軍事政権下に生きる人びと 1993-2005」

講演会：6月6日(火)15:10～16:40

6月19日(月)午後～23日(金) 古谷桂信氏 グアテマラ

「湖水とともに生きる グアテマラ サンティアゴ・アティトラン」

講演会：6月20日(火)15:10～16:40

6月26日(月)午後～30日(金) 中井信介氏 フィリピン

「フィリピンの人々」

講演会：6月27日(火)15:10～16:40

7月3日(月)午後～7日(金) 兵頭千夏氏 チベット

「チベット・カイラス巡礼」

講演会：7月4日(火)15:10～16:40

## 神戸三田キャンパスチャペルオルガニスト募集中

理工学部と総合政策学部の学生チャペル・オルガニストを募集しています。リーフレット、募集要項、応募用紙は神戸三田キャンパス事務室(1号館キャンパス担当)にあります。詳細は、吉岡記念館事務室宗教センターでお尋ねください。(0798-54-6018)

また、募集要項、応募用紙は関西学院宗教センターホームページからダウンロードできます。  
[http://www.kwansei.ac.jp/christian\\_center/](http://www.kwansei.ac.jp/christian_center/)

## ランバスチャペルヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、学生音楽団体による恒例のチャペルヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ足を運んでみてください。

6月12日(月) 関西学院大学ゴスペルクワイア "Power Of Voice"

6月13日(火) 関西学院バロックアンサンブル

6月15日(木) 関西学院聖歌隊

いずれも12時50分から13時20分までランバス記念礼拝堂にて

## 聖書の植物(3) いちじく

いちじくはクワ科イチジク属の果樹で、樹高は普通3～5mですが、条件のよい所では10mほどになることもあるそうです。枝の広がりも8～10mほどになります。普通いちじくは年2回結実します。早春3月に小枝の先端に小さな緑色の瘤を生じますが、これは「青い実」(黙示録6:13)と呼ばれるものです。6月に成熟するのが「初なりのいちじく」(イザヤ28:4)と言われているものです。果実は新鮮なまま食べるほか、乾燥させた「干しいちじく」もよく食用とされました(サム上25:18)。干しいちじくはまた薬用としても使われました(列王下20:7)。

聖書では、いちじくは70回ほど言及され、パレスチナにおける最もポピュラーな植物の一つです。これは聖書において最初に言及されている植物です。すなわち、アダムとエバは楽園で禁断の木の実を食べた直後に、いちじくの葉で腰を覆った、と言われています(創世記3:7)。いちじくはイスラエルを祝福する7つの産物のひとつとされ(申命記8:8) また「自分のぶどうの木の下、いちじくの木の下に座る」ことは、平和と繁栄のシンボルとされました(ミカ書4:4、ゼカリヤ3:10)。